

適合規格	ホルムアルデヒド放散等級 日本塗料工業会登録 T O 1 0 6 3 F☆☆☆☆	
系 統	溶剤形ポリウレタン樹脂塗料	
特 長	1) 速乾性である 2) 密着性、耐久性が優れている	
推 奨 用 途	1) 車両内外部の塗装及びこれらの補修塗装 2) 工作機械等の各種金属製品、プラスチック部品	
荷 姿	1 7.6 kgセット (A : B = 1.6 kg : 1.6 kg) 3.9 6 kgセット (A : B = 3.6 kg : 0.3 6 kg)	労働安全衛生法による表示の種別 【A 液】(ホワイト) トルエン 10～20 % キシレン 5～10 % 酢酸エチル 5～10 % 酢酸ブチル 5～10 % 酢酸イソブチル 5～10 % (色により別途表示あり) 【B 液】 キシレン 20～30 % 酢酸ブチル 20～30 % イソシアネート樹脂
混 合 比	A : B = 1 0 : 1	
可 使 時 間	8時間 (23℃)	
色 相	各 色	
乾燥時間 (23℃)	指触 15分 硬化 4時間	
塗装間隔 (23℃)	下限 30分 上限 ー 時間	有機溶剤中毒予防規則の種別 【A 液】 第2種有機溶剤等 【B 液】 第2種有機溶剤等
標準塗付量 (kg/m ² /回)	エアスプレー 0.12	
標準乾燥膜厚	25 μm/回	
塗 装 方 法	エアスプレー、	毒物および劇物取締法による表示 不 要
希 釈 剤	トアリファイン2Kシンナー#100～#400	
希 釈 率	エアスプレー 50～80 %	
貯 蔵 安 定 性	6ヵ月 (混合前)	
消防法による表示	A 液： 第4類第1石油類 B 液： 第4類第2石油類	
スプレー塗装条件	吐出圧： 3.5～4.5 kg/cm ² 希釈率： 50～80 %	
塗 装 上 の 注 意	1. 二液形塗料ですので、主剤と硬化剤を正しく混合してください。 2. 混合した塗料は、可使時間内に使用してください。 3. アルコール系の入っているシンナーは使用しないでください。 4. 容器に表示している安全衛生上の注意事項を確認の上ご使用ください。	
適合する主な上塗塗料 または下塗塗料	下塗塗料： エポキシ系下塗塗料，ウレタン系下塗塗料 上塗塗料： _____	

組成表・試験成績表



商 品 名	トアリファイン2K
規 格	社 内 規 格

組 成 (白および淡彩)	成 分	% (重量比)
(主 剤)	着 色 顔 料 アクリルポリアル樹脂ワニス 添 加 剤 溶 剤	24.0 56.0 0.3 19.7
	小 計	100.0
(ハードナー)	ポリイソシアネート樹脂ワニス 溶 剤	56.0 44.0
	合 計	100.0

A : B = 10 : 1

試 験 結 果	数値は測定値であり、保証値ではありません。		
試 験 項 目	試 験 成 績	規 格	
主 剤	容器の中での状態	合 格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になること。
	加熱残分 (%)	54	54±2
硬 化 剤	容器の中での状態	合 格	透明な液体であること。
	加熱残分 (%)	47	47±2
混 合 物	混 合 性	合 格	均等に混合すること。
	乾 燥 時 間 (h)	4 合 格	4以内(20℃) 60℃×40分の乾燥で硬化すること。
	ポットライフ (h)	8	20℃、標準ハードナー使用(希釈状態)
	塗 装 作 業 性	合 格	スプレー塗りに支障のないこと。
	塗 膜 の 外 観	合 格	塗膜の外観が正常であること。
	耐 衝 撃 性	合 格	デュポン式、1/2"×500g×30cmの衝撃で割れ・はがれを認めないこと。
	付 着 性	100/100	1mm間隔、碁盤目テープ法
	耐 水 性	合 格	20℃、水道水に20日間浸漬で異常がないこと。
	ガ ソ リ ン 性	合 格	20℃、レギュラーガソリンに4時間浸漬で異常がないこと。

組成表・試験成績表



商 品 名	トアリファイン2K
規 格	社 内 規 格

組 成 (G803 ロイヤルラック)	成 分	% (重量比)
(主 剤)	着 色 顔 料 アクリルポリオール樹脂ワニス 添 加 剤 溶 剤	1.5 45.5 0.5 43.5
	ポリイソシアネート樹脂ワニス 溶 剤	4.7 4.3
A : B = 10 : 1	合 計	100.0

試 験 結 果		数値は測定値であり、保証値ではありません。	
試 験 項 目	試 験 成 績	規 格	
主 剤	容器の中での状態	合 格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になること。
	加熱残分 (%)	38	38±2
硬 化 剤	容器の中での状態	合 格	透明な液体であること。
	加熱残分 (%)	47	47±2
混 合 物	混 合 性	合 格	均等に混合すること。
	乾 燥 時 間 (h)	4 合 格	4以内(23℃) 60℃×40分の乾燥で硬化すること。
	ポットライフ (h)	8	20℃、標準ハードナー使用(希釈状態)
	塗 装 作 業 性	合 格	スプレー塗りに支障のないこと。
	塗 膜 の 外 観	合 格	塗膜の外観が正常であること。

組成表・試験成績表



商 品 名	トアリファイン2K
規 格	社 内 規 格

組 成 (G361 シアノン [®] ル)	成 分		% (重量比)
	(主 剤)	着 色 顔 料 アクリルポリオール樹脂ワニス 添 加 剤 溶 剤	4.0 51.5 2.0 33.5
A : B = 10 : 1	(ハードナー)	ポリイソシアネート樹脂ワニス 溶 剤	4.7 4.3
	合 計		100.0

試 験 結 果		数値は測定値であり、保証値ではありません。	
試 験 項 目		試 験 成 績	規 格
主 剤	容器の中での状態	合 格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になること。
	加熱残分 (%)	41	41±2
硬 化 剤	容器の中での状態	合 格	透明な液体であること。
	加熱残分 (%)	47	47±2
混 合 物	混 合 性	合 格	均等に混合すること。
	乾 燥 時 間 (h)	4 合 格	4以内(23℃) 60℃×40分の乾燥で硬化すること。
	ポットライフ (h)	8	20℃、標準ハードナー使用(希釈状態)
	塗 装 作 業 性	合 格	スプレー塗りに支障のないこと。
	塗 膜 の 外 観	合 格	塗膜の外観が正常であること。

組成表・試験成績表



商 品 名	トアリファイン2K
規 格	社 内 規 格

組 成 (G562 シアニング・リン)	成 分	% (重量比)
(主 剤)	着 色 顔 料 アクリルポリオール樹脂ワニス 添 加 剤 溶 剤	4.0 45.0 2.0 40.0
	(ハードナー)	ポリイソシアネート樹脂ワニス 溶 剤
A : B = 10 : 1	合 計	100.0

試 験 結 果		数値は測定値であり、保証値ではありません。	
試 験 項 目	試 験 成 績	規 格	
主 剤	容器の中での状態	合 格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になること。
	加熱残分 (%)	37	37±2
硬 化 剤	容器の中での状態	合 格	透明な液体であること。
	加熱残分 (%)	47	47±2
混 合 物	混 合 性	合 格	均等に混合すること。
	乾 燥 時 間 (h)	4 合 格	4以内(23℃) 60℃×40分の乾燥で硬化すること。
	ポットライフ (h)	8	20℃、標準ハードナー使用(希釈状態)
	塗 装 作 業 性	合 格	スプレー塗りに支障のないこと。
	塗 膜 の 外 観	合 格	塗膜の外観が正常であること。

組成表・試験成績表



商 品 名	トアリファイン2K
規 格	社 内 規 格

組 成 (G256 シンシャレット [®])	成 分	% (重量比)
(主 剤)	着 色 顔 料 アクリルポリオール樹脂ワニス 添 加 剤 溶 剤	4. 0 43. 5 1. 5 42. 0
	ポリイソシアネート樹脂ワニス 溶 剤	4. 7 4. 3
A : B = 1 0 : 1	合 計	1 0 0. 0

試 験 結 果		数値は測定値であり、保証値ではありません。	
試 験 項 目	試 験 成 績	規 格	
主 剤	容器の中での状態	合 格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になること。
	加熱残分 (%)	3 5	35±2
硬 化 剤	容器の中での状態	合 格	透明な液体であること。
	加熱残分 (%)	4 7	47±2
混 合 物	混 合 性	合 格	均等に混合すること。
	乾 燥 時 間 (h)	4 合 格	4以内(23℃) 60℃×40分の乾燥で硬化すること。
	ポットライフ (h)	8	20℃、標準ハードナー使用(希釈状態)
	塗 装 作 業 性	合 格	スプレー塗りに支障のないこと。
	塗 膜 の 外 観	合 格	塗膜の外観が正常であること。